

平成29年度社会福祉法人神和会事業報告

1. 事業経過

平成28年度に実施した職員処遇の改善策により一定の成果はあったものの特養の稼働が低調だったことに加え通所系サービス、特に小規模多機能事業の稼働も不調だったことから人件費の増に対応することが出来ず、収入が落ち込み財務状態の悪化を招いた。一旦は充足した介護職員だが退職等に伴う補充をせず対応したため、余剰の人員を確保しておくことが出来ず不足する事態を招いた。

改善策として通所系事業のリーダー及び生活相談員で構成する検討会議を組織して稼働状況の分析と対策を重ねた。

理事会に運営状況を報告し、居宅介護視線事業所を新たに開設し相談からサービス提供まで一貫して実施する体制を整備することに加え、財務改善策として市中銀行からの借り換えによる債務圧縮を検討するよう指示した。以上の内容を次年度に実施するよう準備を進めている。

○大野の郷職員数（デイサービス・ショートステイ含）

	正職員	嘱託職員	パート職員	備考
施設長	※1			兼務
生活相談員	※3			兼務
看護師	4		2	
理学療法士	0			
介護支援専門員	※2			兼務
介護職員	43		3	
管理栄養士	1			
事務職員	2		5	

平成30年3月末現在

○和の家職員数

	正職員	嘱託職員	パート職員	備考
施設長	※ 1			兼務
生活相談員	※ 1			兼務
看護師	※ 1			兼務
理学療法士	0			
介護支援専門員	※ 2			兼務
介護職員	20		2	
管理栄養士	※ 1			兼務
事務職員	※ 2			兼務

平成 30 年 3 月末現在

○理事会・評議員会等の報告

<p>第 1 回定時理事会 平成 29 年 5 月 29 日 午後 1 時 30 分～</p> <p>場所：大野の郷会議室</p>	<p>第 1 号議案 社会福祉法人神和会評議員候補者の推薦について</p> <p>認定第 1 号 平成 28 年度社会福祉法人神和会事業報告について</p> <p>認定第 2 号 平成 28 年度特別養護老人ホーム（短期入所含む）事業報告について</p> <p>認定第 3 号 平成 28 年度大野の郷デイサービス事業報告について</p> <p>認定第 4 号 平成 28 年度障がい者福祉サービス事業報告について</p> <p>認定第 5 号 平成 28 年度小規模多機能型居宅介護事業所事業報告について</p> <p>認定第 6 号 平成 28 年度社会福祉法人神和会一般会計収支決算報告について</p> <p>報告第 1 号 社会福祉法人神和会給与規程の改正について</p>	
---	--	--

<p>第1回定時評議員会 平成28年6月12日 午後3時00分～</p> <p>場所：大野の郷会議室</p>	<p>第1号議案 社会福祉法人神和会次期役員の選任について</p> <p>認定第1号 平成28年度社会福祉法人神和会事業報告について</p> <p>認定第2号 平成28年度特別養護老人ホーム（短期入所含む）事業報告について</p> <p>認定第3号 平成28年度大野の郷デイサービス事業報告について</p> <p>認定第4号 平成28年度障がい者福祉サービス事業報告について</p> <p>認定第5号 平成28年度小規模多機能型居宅介護事業所事業報告について</p> <p>認定第6号 平成28年度社会福祉法人神和会一般会計収支決算報告について</p>	
<p>第1回臨時理事会 平成29年6月12日 午後2時30分～</p> <p>場所：大野の郷会議室</p>	<p>第1号議案 社会福祉法人神和会理事長の選任について</p>	
<p>第2回定時理事会 平成29年12月11日 午後1時30分～</p> <p>場所：大野の郷会議室</p>	<p>第1号報告 平成29年度上半期事業報告について</p> <p>第1号議案 平成29年度社会福祉法人神和会一般会計補正予算（第1号）について</p> <p>第2号議案 臨時評議員会の招集について</p>	
<p>第1回臨時評議員会 平成29年12月18日</p> <p>場所：大野の郷会議室</p>	<p>第1号議案 平成29年度社会福祉法人神和会一般会計補正予算（第1号）について</p>	

<p>第3回定時理事会 平成30年3月12日 午後1時30分～</p> <p>場所：大野の郷会議室</p>	<p>第1号議案 定款の変更について</p> <p>第2号議案 費用弁償規程の改正について</p> <p>第3号議案 新平成29年度社会福祉法人神和会一般会計補正予算（第3号）について</p> <p>第4号議案 平成30年度社会福祉法人神和会事業計画（案）について</p> <p>第5号議案 平成30年度特別養護老人ホーム（老人短期入所含む）事業計画（案）について</p> <p>第6号議案 平成30年度老人デイサービス事業計画（案）について</p> <p>第7号議案 平成30年度障がい福祉サービス事業計画（案）について</p> <p>第8号議案 平成30年度地域密着型小規模多機能型居宅介護事業所和の家事業計画（案）について</p> <p>第9号議案 平成30年度社会福祉法人神和会一般会計収支予算（案）について</p> <p>第10号議案 市中銀行からの借入について</p> <p>第11号議案 臨時評議員会の招集について</p>	
<p>第2回臨時議員会 平成30年3月26日 午後1時30分～</p> <p>場所：大野の郷会議室</p>	<p>第1号議案 定款の変更について</p> <p>第2号議案 役員費用弁償規程の改正について</p> <p>第3号議案 平成29年度社会福祉法人神和会一般会計補正予算（第3号）について</p> <p>第4号議案 平成30年度社会福祉法人神和会事業計画（案）について</p> <p>第5号議案 平成30年度特別養護老人ホ一</p>	

	<p>ム（老人短期入所含む）事業計画（案）について</p> <p>第6号議案 平成30年度老人デイサービス事業計画（案）について</p> <p>第7号議案 平成30年度障がい福祉サービス事業計画（案）について</p> <p>第8号議案 平成30年度小規模多機能型居宅介護事業所和の家事業計画（案）について</p> <p>第9号議案 平成30年度社会福祉法人神和会一般会計収支予算（案）について</p> <p>第10号議案 市中銀行からの借入提案について</p>	
--	--	--

平成29年度特別養護老人ホーム大野の郷(短期入所事業含む)地域密着型特別養護老人ホーム和の家事業報告

1 事業経過

(1) 入居者・利用者にとって魅力ある施設

入居者主体の考え・施設の考えを職員へ浸透するよう毎月のユニット会議の冒頭で施設理念の復唱・確認を行った。ユニット会議で理念を確認することにより、キーワードとして各職員へ浸透したと実感する。また、会議中のケア検討においても理念が意識され、それが入居者主体のケアに繋がってきている。

24Hシートは、これまで介護職員のツールという意味合いが強かったが、管理栄養士、看護師に参加してもらい、多職種協働で入居者を支える基盤を創った。ケアプランと24Hシートの連動を本格的に進めていきたい。

安心・安全な生活を支援するために、緊急時対応（誤嚥・窒息時）とKYT（危険予知トレーニング）の研修を実施し、職員が疑似体験することにより、リスクマネジメントの意識を高めた。また、ユニット会議において事故の振り返りを行うことにより再発防止に向けた取り組みを行った。

入居者の体調管理・受診等嘱託医、看護師、相談員が連携し迅速に対応することに努めた。

楽しみのある生活の支援において、法人全体行事として青空喫茶（8月）、月見祭（9月）、鹿嶋まつり参加（10月）、餅つき（12月）、節分（2月）、祭頭祭参加（3月）を実施した。その他ユニット単位で、花見、あやめ見学、外食、出前など計画・実施し、楽しみを提供することに努めた。

(2) 職員のプロ意識を育てる

試験的に人事考課を4月から9月に実施した。その後10月に一次評価・個人面談・二次評価・最終評価を実施した。人事考課を通して、職員個々の課題が明確になり、意識の変化があらわれる事を期待している。

施設内研修において、ほぼ事業計画通りに実施した。前期は基礎内容がメインであったが、「エビデンス」を理解する事で、専門性の向上を図る狙いがあった。

接遇においては、6月の全体会で研修を行い、また人事考課に評価内容を取り入れ評価することで、接遇の向上を図った。

課題としては、人員不足のため介護主任がユニット業務と兼務する状況が続いており、

全体的に介護職員の状況を把握できていない。その為、ユニット内の課題の吸い上げやリーダーの相談等が機能していない。職員の充足ができ次第、介護主任を通常の業務に復帰させ、円滑にコミュニケーションが図れるよう体制を整える。

(3) 入居者のご家族、地域の方々にとって魅力ある施設

これまでと同様、ボランティアの協力により、喫茶や体操教室、月見祭、夕涼み会等の行事を実施した。家族それぞれに事情があり頻度は違うものの、面会に訪れており、入居者にとって安らぎの時間となっている。

広報活動に力を入れるべく事業広報委員会を拡充しSNS等を通じた広報活動を行っている。施設行事などHP・SNSを通して広報活動は形になりつつある。

平成29年度デイサービス事業報告

1・事業経過

(1)「楽しみ」のある拠点

「楽しみ」のある拠点として、四季を感じる外出として「お花見」・「あやめ見学」、食べる楽しみとして5月、7月、と外食レク、5月、6月、10月に季節の食材を使った調理レクを実施した。また、デイサービス単体での夏祭り・敬老会、法人行事「月見祭」「青空喫茶」への参加。毎週水曜開催の喫茶への参加。地域ボランティアのご協力いただき複数のイベント開催など「楽しみ」を提供できた。下半期は感染症の流行期のため外出する機会が制限されたが、室内でできるレク活動を実施した。

(2) 職員として資質の向上

施設内研修へ積極的に参加した。しかし、デイサービスの業務に特化した研修内容が少なく、今後は、デイサービスに特化した研修への派遣も検討したい。

デイサービス職員の外部研修への参加はなかなか出来なかった。その代わりデイサービスの特性に沿ったレクリエーション、生活リハビリの知識を深めるよう、日々の業務でのOJTや終礼での勉強会等で、ケアの質の向上や統一を図った。

日々の楽しみを提供する役割において、デイサービスの職員が自発的にレクリエーション及び行事を企画・提案し、利用者の楽しみを増やすことを考える動きとして現れた。

来年度の課題として、職員のモチベーションの維持及び更なる資質の向上が不可欠である為、外部・施設内の研修に派遣していきたい。

(3) 食事

生活リハビリの観点から、食事前に口腔体操を行い嚥下・咀嚼機能の維持に努めた。美味しく、楽しく食べていただく為に、今後も継続して口腔体操を行い、機能維持に努める。

また、食事はデイサービスの利用者にとって楽しみとなるプログラムと捉えている。昼食のみの提供となるものの、利用者の満足度向上の為、日々の食事の会話などから出た意見を給食委員会へ提出し改善を図った。食へのこだわりが強い方等から貴重な意見を頂き、全てではないが反映・改善することができている。

平成29年度障がい福祉サービス事業報告

1. 事業経過

障がい福祉サービス事業として通所サービス・短期入所サービスを実施している。デイサービスの障がい者枠の利用はなかったが、短期入所では1名が10月より利用を開始した。重度の障害があるものの要介護認定を受けられない方のためのサービスとして継続していきたい。

例年通り、基本的なサービス内容は高齢者サービスに準じて提供した。

平成29年度小規模多機能型居宅介護事業所和の家事業報告

1. 事業経過

(1) サービスの特徴を生かして

小規模多機能型サービスの特徴を活かし、地域で暮らす利用者及び家族のニーズに柔軟に対応するという目標を掲げて活動してきたが、実際には職員の体制や利用者のニーズ等により、訪問の時間帯の制限、宿泊日の調整等の必要が生じ、利用者・ご家族のニーズに対応できないこともあった。

利用者の状態の変化に伴い別サービスへの移行(施設入所や入院)等により、登録者数が減り新規利用者が獲得できない時期が続いた。

上半期は、なかなか外出等の機会を設けられなかったが、この反省を活かし、室内レク活動の充実を図った。

また、「小規模多機能型サービス」が一般に認知されていないことから、周知活動を行った。鹿嶋市の主催する意見交換会で制度説明を実施したほかケアマネージャー会でのPRを実施した。

(2) 職員のスキルアップ

施設内研修への参加をはじめ、外部研修で学んだ内容を伝達講習で他職員に伝える事で、全体的なスキルアップを図った。これまで、協力ユニットとの連携やケアマネと小規模職員の業務連携で課題があったが、徐々に改善されてきている。

(3) 地域貢献と災害対策

2ヶ月に1回のペースで運営推進会議を実施している。その中で地域との情報交換をし、連携を図った。

和の家ユニットと合同で防災訓練を年2回実施した。内1回は地元消防団と合同で防災訓練を実施した。